
大通り景観づくりの方針

～ 大通り景観形成ガイドライン ～

平成 21 年 3 月
大通り景観づくり検討会

はじめに

大通りは、二荒山神社の門前町として形成され、江戸時代に宇都宮城の城下町として現在の骨格が概ねつくられました。その後、明治時代に栃木県庁の移転とともに拡幅整備が進み、宇都宮市を代表する目抜き通りとして、中心市街地の顔となっています。

しかし、近年、郊外部での大型商業施設の開発等により、消費者が郊外部へと流れ、中心市街地の活力の低下が懸念されています。

そこで、大通りの魅力をさらに高め、中心市街地のさらなる活性化を目指すため、大通りの沿道の住民、商店街、事業者等の皆様とともに「大通り景観づくり検討会」を設立しました。

この検討会では、大通りの景観資源の再発見、景観づくりの課題等を皆様とともに話し合い、大通りの景観づくりの目標・方針をまとめた「大通り景観形成ガイドライン」を策定しました。

本ガイドラインを通じて大通りにおける景観づくりへの理解をより一層深めていただき、また、大通り沿道において建築計画や屋外広告物の掲示、緑化計画の立案時に本ガイドラインを十分活用いただき、大通りが宇都宮市の顔としてふさわしい景観となることを期待します。

平成 21 年 3 月



二荒山神社前付近



大工町



宮の橋付近



馬場町交差点付近（大正時代）
出典）「昔日の宇都宮」（石川健 編、随想舎、1997）



大工町付近（大正）



宮の橋以西（年代不明）

- 目 次 -

はじめに

ガイドラインの策定にあたって	1
1．ガイドラインの適用範囲	1
2．ガイドラインの使い方.....	1
3．ガイドラインの策定体制	2
大通り全体の景観づくりの目標と方針	3
1．景観づくりの目標.....	3
2．景観づくりの方針.....	8
地区別景観づくりの目標と方針	25
1．宮の橋地区	27
2．大工町地区	37
3．馬場地区	47
4．池上町地区	61
参考資料	71

ガイドラインの策定にあたって

1. ガイドラインの適用範囲

本ガイドラインの対象範囲は、JR宇都宮駅から池上町交差点までの約1.6kmの区間とします。



本ガイドラインが対象とする空間は、道路等の公共空間及び沿道の建築物等の外観等（私有地）です。

これらの空間で、埋もれている地域資源の発掘・活用や魅力あるまちなみの整備に向けたアイデアをハード整備とソフト整備の両面から検討しています。



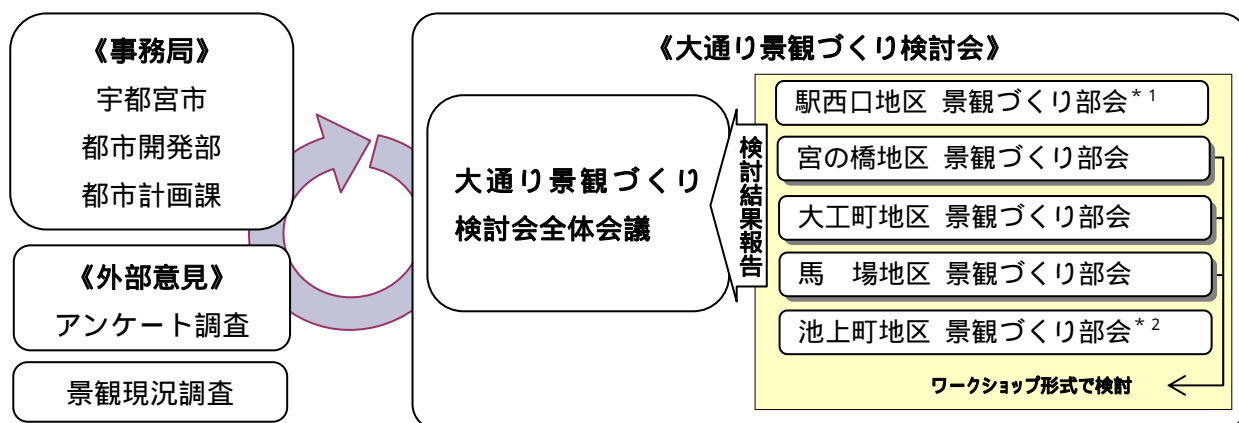
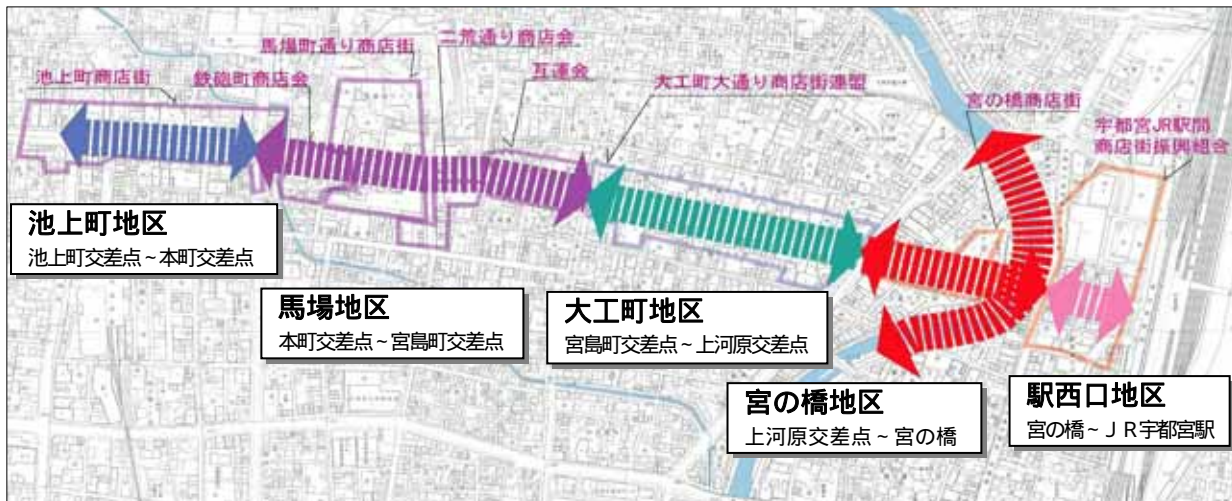
2. ガイドラインの使い方

本ガイドラインは、大通りの魅力アップを目指し、良好な景観づくりの方針を示すものであり、以下のような使い方を想定しています。

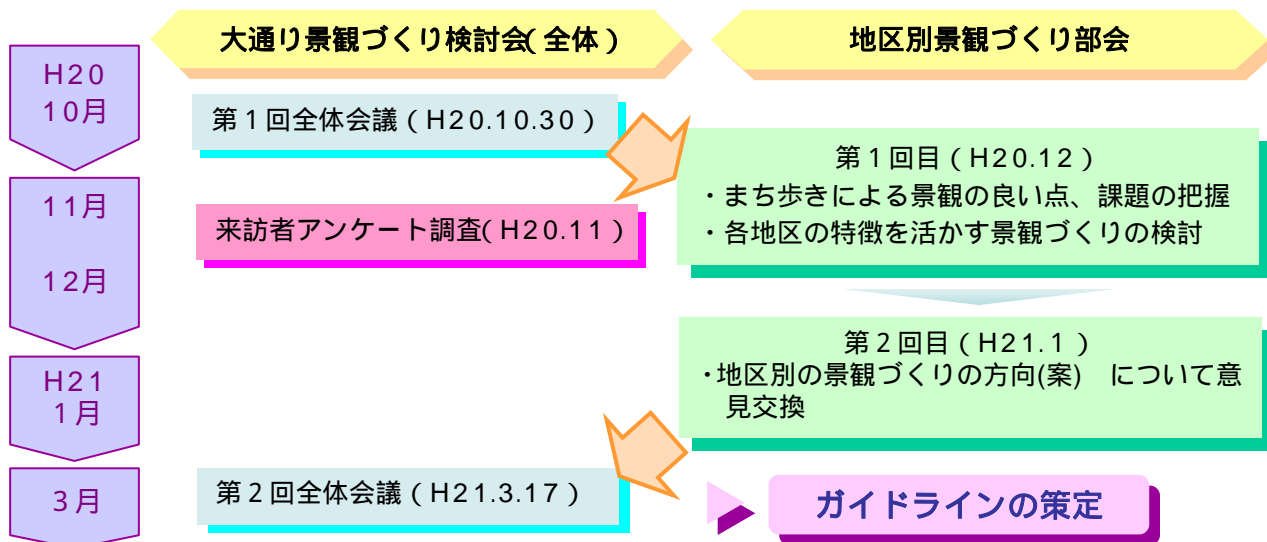
大通り沿道の再開発や各所で行われる建築物等の更新の際に、本ガイドラインの内容をふまえ、事業計画、建築計画を立案します。地域の皆様が大通りの景観づくりを検討する際に、本ガイドラインを出発点として、様々な取り組みへの参考とします。

3. ガイドラインの策定体制

本ガイドラインは、沿道の商店街や自治会等の代表の方々に構成される、「大通り景観づくり検討会」および「地区別景観づくり部会」での検討結果をもとに、外部意見(アンケート調査)をふまえ、作成しました。



- * 1) 駅西口地区は、駅前広場全体の総合的なまちづくりについて、別途勉強会等で検討中です。
- * 2) 池上町地区は、「わがまち自慢推進事業交付金」(栃木県)の支援により、別途池上通り商店街振興組合が主体となり、アーケード撤去、店舗ファサード整備を検討、実施しています。



大通り全体の景観づくりの目標と方針

1. 景観づくりの目標

大通り全体の景観づくりの目標を以下のように定め、魅力ある景観づくりに向けて継続的に取り組んでいきます。

景観づくりのキーワード

【各地区に共通する主な意見】

道路空間

- ・歩道の舗装が不揃い、段差。
- ・駐輪、看板等占用物。
- ・みどりの維持管理不足。

沿道建築物等

- ・にぎわいづくり。
- ・アーケード等の統一感、連続性が無い。
- ・歴史・文化の尊重。

【アンケート調査結果】

- ・メインストリートとして特徴が無い、まとまりがない。
- ・にぎわいにかける。夜が暗い。
- ・歴史的資源は良い。
- ・歩いて楽しく、緑豊かな通りになると良い。

共通、相互関連事項

参考

導き出したキーワード

「大通り」としての特徴づくり
うるおい、にぎわいづくり
大通りの歴史・文化の保全、活用

景観特性

【景観現況調査結果】

- ・城下町都市としての多機能性等、歴史的文脈の保全、活用。
- ・これまで行ってきた都市整備、再開発等、既存ストックの活用。
- ・餃子、ジャズ等、宇都宮ならではの取り組みの見える化。

キーワードから見える
大通り全体の目標

景観づくりの目標

- 1 宇都宮の顔にふさわしい、まとまり（絆）を持ち、「宇都宮」としての個性と魅力を備える「軸」を形成します。
- 2 宇都宮中心部のメインストリートとして、みどり豊かな、歩いて楽しい、にぎわいのある街並みを形成します。
- 3 大通りの歴史や文化を活かし、落ち着きと風格のある街並みを形成します。

景観づくりの目標イメージ

大通り東側の将来の景観像イメージ

現 状



将来の景観像イメージ



北側の手前の建物は、他の建物の画像を加工し、配置したものであり、実際の建物とは異なります。

《大通り東側の将来の景観像イメージにおける、現状からの修景ポイント》

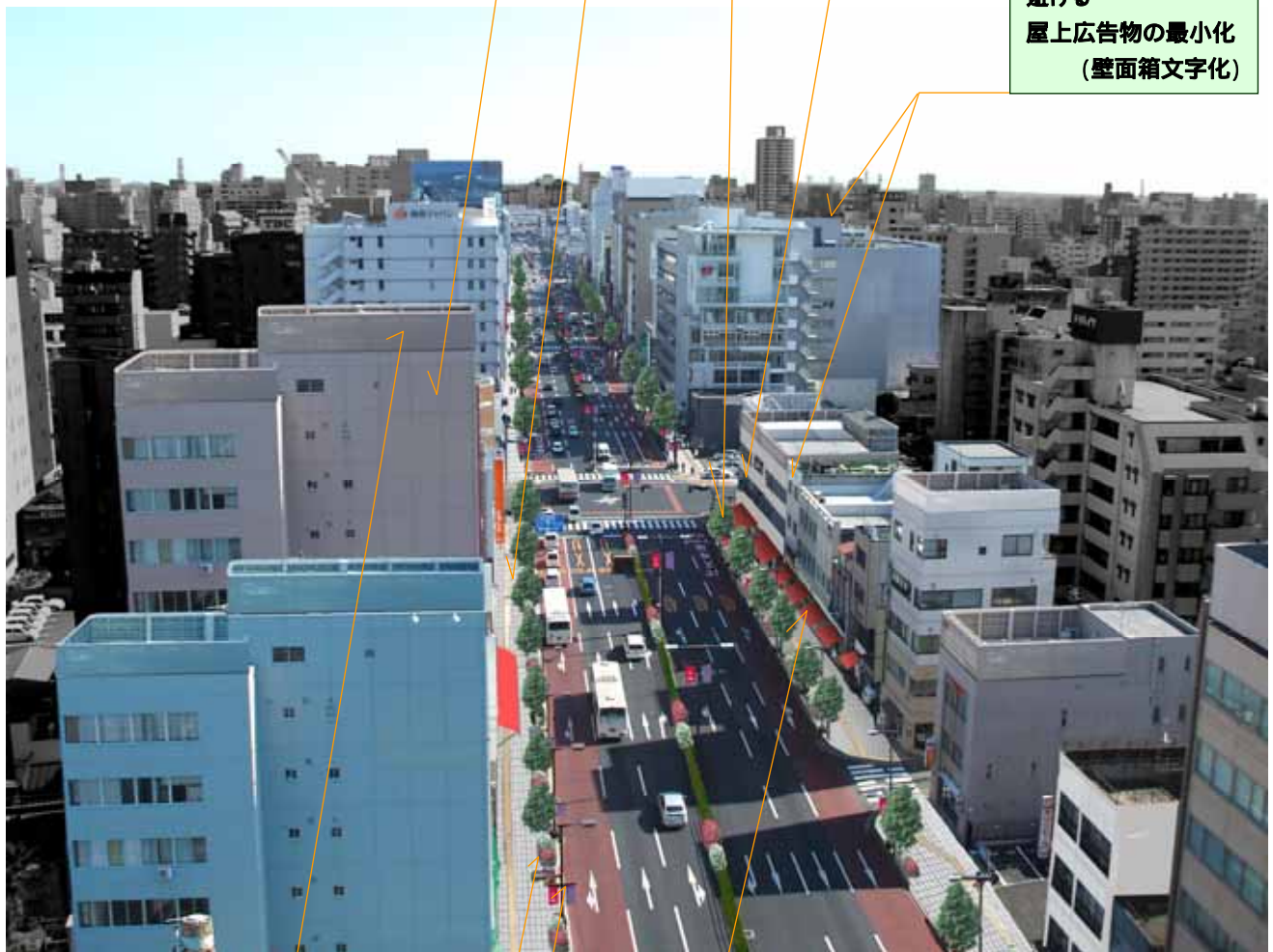
安全で歩きやすい歩行空間の創出
歩道の高質化(舗装、緑化、照明、バス停等)

中高層部における良好な屋外広告物
景観の形成

植栽による緑の軸の形成

中高層部への落ち着いた色彩採用

屋上広告物の設置を
避ける
屋上広告物の最小化
(壁面箱文字化)



室外機の遮蔽

北側の手前の建物は、他の建物の画像を加工し、配置したものであり、実際の建物とは異なります。

宇都宮らしさを表す
素材(大谷石)の採用(花壇等)

歩道街灯の充実化、統一フラッグの掲示
フラッグには大通りらしいデザインを採用

老朽アーケードをオーニングで代替、
低層部ににぎわい楽しさの演出
アーケード支柱後に街路樹を補植

大通り西側の将来の景観像イメージ

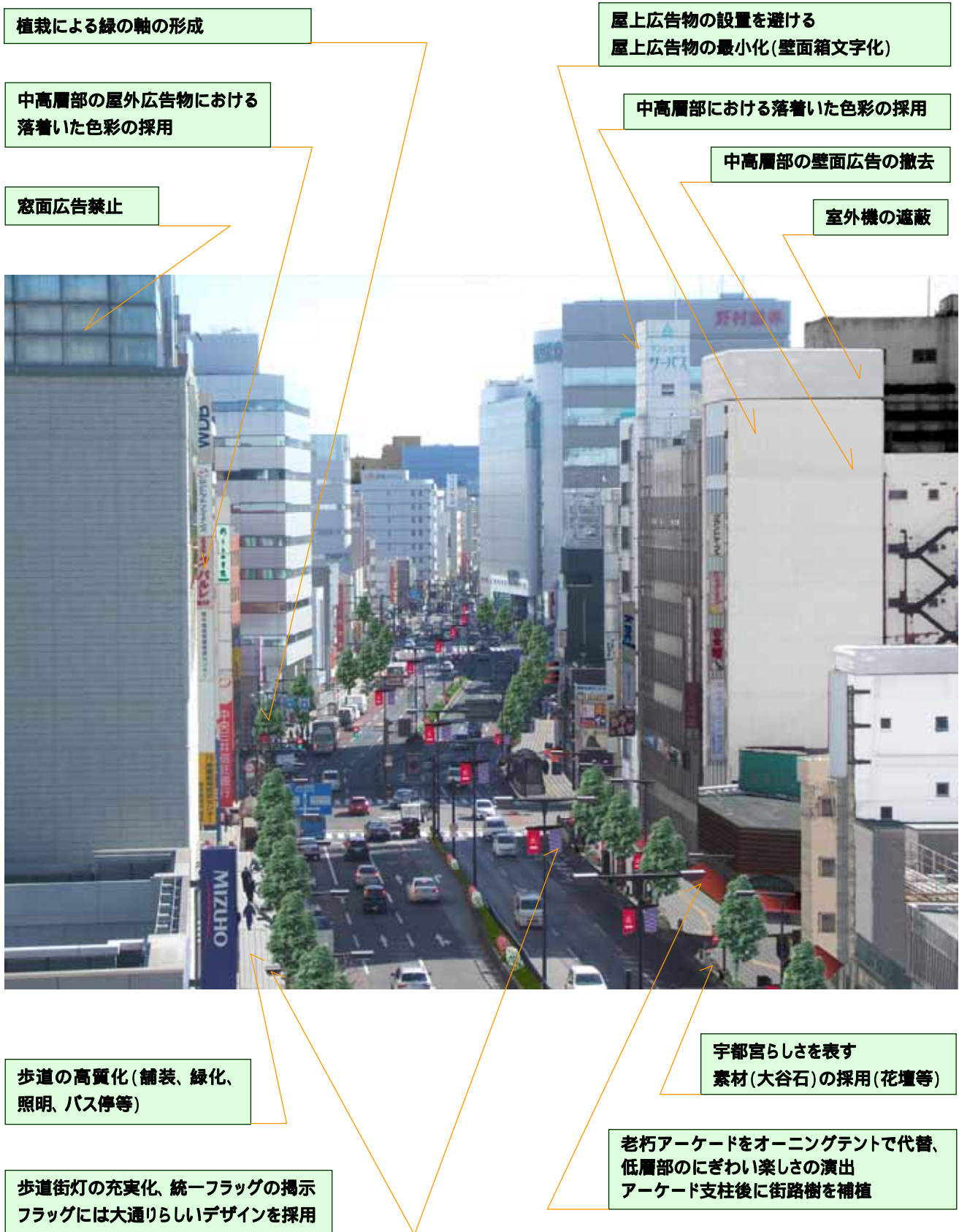


現 状



将来の景観像イメージ

《大通り西側の将来の景観像イメージにおける、現状からの修景ポイント》



2. 景観づくりの方針

1 宇都宮の顔にふさわしい、まとまり（絆）を持ち、「宇都宮」としての個性と魅力を備える「軸」を形成します。

公共施設や道路上の施設等については、デザイン等を統一します。

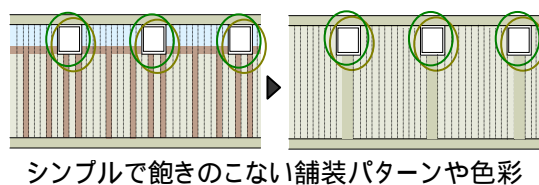
【景観づくりの考え方】

歩道の路面舗装や道路植栽、防護柵や街灯などの道路付属物、バス停やサイン、路上受電設備などの道路占用物については、大通り全体にまとまりを持たせるため、デザイン等を統一します。

【景観づくりの具体方策】

歩道舗装、道路付属物、道路占用物のデザイン統一

- ・歩道舗装の基本パターンや色合いを統一します。
- ・防護柵や街灯、路上受電設備の形態、色彩等を統一します。
- ・バス停やサインなどは、デザイン性のあるものとし、色彩等については、他の道路付属物と合わせます。



植栽による緑の軸の形成

- ・歩道には、同一の樹種の高木を等間隔に植栽し並木を形成します。
- ・植樹帯をできるだけ設置し、常緑低木や花などにより、緑の帯を形成します。
- ・中央分離帯についても可能な限り常緑低木や花を植栽し、緑化をします。



街路樹を充実化し、緑の軸を形成

宇都宮らしさを表す素材（「大谷石」）を活用します。

【景観づくりの考え方】

道路付属物やサイン、建築物や外構などへ個性や魅力を創出するため、「大谷石」を積極的に採用し、宇都宮らしい景観を形成します。

【景観づくりの具体方策】

建築物等への採用

- ・ 建築物の外壁や入口まわり、建築物前面の空地の舗装材、外構等の一部に大谷石を積極的に採用します。

低層部の外壁素材への大谷石の採用(市内レストラン)



公共建築物の外壁素材への大谷石の採用(宮の橋橋詰公衆トイレ)

植栽柵、モニュメント等への採用

- ・ 植栽柵の縁石や、花壇、ベンチ、モニュメント等の素材として、大谷石を積極的に採用します。



花壇、モニュメントへの大谷石の採用

二荒山神社、釜川などの宇都宮独自の景観資源を保全、活用します。

【景観づくりの考え方】

二荒山神社などの歴史的建造物、田川や釜川などの自然資源など、宇都宮ならではの景観資源を保全、活用します。

【景観づくりの具体方策】

大通りからの眺望の向上

- ・ 二荒山神社前広場への工作物を最小限の設置に努め、ライトアップ等により幻想的な景観を形成します。
- ・ 田川沿いの建築物の景観配慮に努め、河川敷へのイベント等への活用も検討します。
- ・ 釜川プロムナードの定期的なメンテナンスを行い、ライトアップ等による魅力的な景観を形成します。



上: 緑溢れる二荒山神社

下左: プロムナードが整備されている釜川

下右: 芝桜が植えられた田川

宮まつり、餃子、ジャズ等、宇都宮ならではの取り組みを大通り全体の景観づくりに活かします。

【景観づくりの考え方】

各種まつりのにぎわいや、餃子、ジャズなど、宇都宮ならではの取り組みの様子を大通り全体で共有し、宇都宮らしい景観を形成します。

【景観づくりの具体方策】

宇都宮らしさを表す取り組みをデザインモチーフとして活用

- ・ 宇都宮ならではの取り組みの様子をデザインモチーフとし、フラッグの図案とするなど、宇都宮らしい景観を形成します。



左：宮まつりの舞台となる広場の景観
右：ジャズをテーマとしたフラッグによる演出

フラッグの連続掲出

- ・ 大通り全体にフラッグを連続して掲出し、景観にまとまりを形成します。



フラッグの連続した掲出によるまとまり

大通り全体で景観づくりに参加するしくみを整備し、継続した取り組みを推進します。

【景観づくりの考え方】

市民や事業者等が、大通りの景観づくりに気軽に参加できる場を整備し、行政や関係機関等とともに、長期にわたり継続した取り組みが行えるようにします。

【景観づくりの具体方策】

- ・ 特定のテーマや地区ごとの課題等を検討する運営組織をつくり、大通り全体で一体となった魅力ある景観づくりを推進していきます。

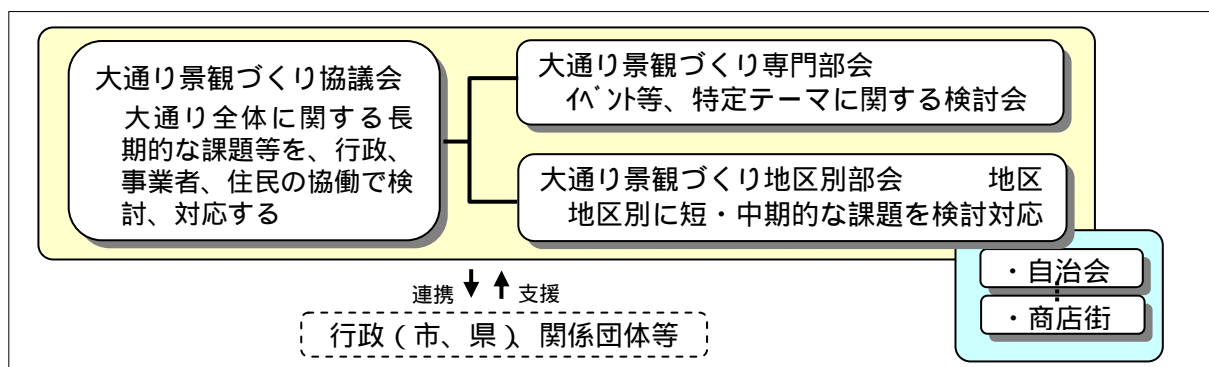


図 大通り全体の運営組織のイメージ

2 宇都宮中心部のメインストリートとして、みどり豊かな歩いて楽しい、にぎわいのある街並みを形成します。

快適な歩行空間を形成します。

【景観づくりの考え方】

歩きやすい舗装や段差を無くし、壁面後退等による空間を創出するなど、安全でゆとりある歩行空間を形成します。また、新たな樹木や花等の植栽を増やし、既存樹木の定期的な維持管理を行うなど、緑豊かな歩行空間を形成します。

【景観づくりの具体方策】

安全で歩きやすい歩行空間の創出

- ・ユニバーサルデザイン の採用を積極的に取り入れます。
- ・安全で歩きやすい舗装材を採用します。
- ・街路樹は、道路照明との関係を考慮し、歩道が暗くならないよう、樹形を整えます。
- ・フット照明等歩道用街灯の整備を推進します。

）ユニバーサルデザイン：年齢や性別の違い、障がいの有無などにかかわらず、多くの人々が利用可能であるようなデザイン



上左：インターロッキングブロック舗装
上右：コンクリート平板舗装
下左：セラミック平板舗装

透水性、形状等のバリエーション豊かな舗装材例
出典「宇都宮市大通り街路景観整備全体計画策定報告書」(栃木県、H20.3)



街路樹間に照明を配置



フットライト

壁面後退によるゆとり空間の創出

- ・沿道建築物の更新時に、壁面後退、配置の工夫により、道路沿道に広場状空間を創出し、歩道と一体的に整備するなど、ゆとりある歩行空間を形成します。



低層部がセットバックし、歩道と段差のない一体的な歩行空間を創出(再開発整備地)

老朽アーケードの機能の代替、みどりの充実化

- ・老朽アーケードを撤去し、庇の機能をオーニングテントで代替します。
- ・照明については、街路灯を整備し、街路樹や植栽、花等により緑を充実します。



老朽アーケードを撤去し、庇機能をオーニングテントで代替するとともに、街路樹を植栽するイメージ

占用物の撤去、整理

- ・歩道上の駐輪自転車や立て看板等、占用物を撤去、整理し、快適な歩行空間を形成します。



駐輪スペースの確保、自転車ラックの設置等により、歩道上の駐輪自転車を整理

低層部においてはにぎわいを演出するデザインを採用します。

【景観づくりの考え方】

沿道の低層部には店舗、ショールーム等を配置し、かつ、内部の様子が外部からも見ることができ、ウィンドウショッピングや気軽に立ち寄れるように、ショーウィンドウやベンチ、植栽等を設置するなど、にぎわいを感じることができる景観を形成します。

また、照明を有効に活用し、夜間も明るい景観を形成します。

【景観づくりの具体方策】

低層部へのにぎわいサービス施設の配置

- ・低層部に商業店舗やショールーム等を配置し、にぎわい景観を形成します。



低層部にショールーム、カフェを配置し、にぎわいを創出している

低層部のにぎわい楽しさの演出

- ・低層部にガラス張りを多用し、内部の様子が伺え、ショーウィンドウ等による通りのにぎわいを演出する景観を形成します。
- ・店先には、ベンチや植栽、フラッグ、デザイン性のある広告等により、通りの楽しさを演出し、気軽に立ち寄れる工夫をします。



低層部にガラスを多用し、内部のにぎわいを伺える大規模店舗



開放的なファサードにより、店舗前空間との一体感を演出し、内部のにぎわいがにじみ出ている小規模店舗



和風の店舗における、開放的なファサード



開放的なファサード、テーブルと椅子を設え、内部のにぎわいがにじみ出ている小規模店舗

ファサード：建築物の正面の外観

明るい夜間景観の形成

- ・ 内部の照明が歩道を照らすよう店舗をガラス張りにし、また街路樹のイルミネーション等により、明るい夜間景観を形成します。
- ・ 歴史的建造物等や広場へのライトアップにより、夜間も明るいスポットを断続的に形成します。



ライトアップやイルミネーションによる、夜間も明るい景観



店舗内部の照明が歩道を照らし、夜間も明るい景観

【参考事例】

ナイトバザールの開催による夜間のにぎわい景観の創出 [みやのかわ商店街(秩父市)]
コンビニの来客時間帯・売り上げ状況の調査から、消費者の生活行動が夜型に移行していることに着目し、地域の伝統祭りである「秩父の夜祭」にヒントを得て「ナイトバザール」を実施した。これまでに200回以上行われ、「ナイトバザール」は今や秩父の夜市として固有名詞化したブランドとなっている。

【効果】 ナイトバザールの開催、舞台となる空間の修景整備 **好評・集客力アップ**

資料) がんばる商店街77選(経済産業省)

地域住民や事業者、行政が、共に緑を育みます。

【景観づくりの考え方】

地域住民、事業者、行政の協働により、緑の維持管理、充実化を図り、四季が感じられる、うるおいのある景観を継続的に形成します。

【景観づくりの具体方策】

店先、歩道の緑の育成

- ・沿道店舗の店先に花・緑を育むなど、うるおいのある景観を形成します。
- ・歩道の空いた空間に、プランター等で花、緑を創出します。
- ・地域住民、事業者、行政が一体となって緑を育むしくみづくりを検討します。



プランター等で花、緑を育むうるおいのある景観



地域住民、事業者によるみどりの育成



店舗前の花によるうるおいのある景観

【参考事例】

花いっぱい計画 [渋谷公園通り商店街振興組合(渋谷区)]

渋谷公園通り商店街振興組合は、駐輪軽減などを目的に歩道のプランターに季節の花を植える「花いっぱい計画」を推進している。渋谷公園通商店街振興組合のメンバーをはじめとするボランティアやNPO団体のスタッフがプランターを設置した。

渋谷パルコ周辺から丸井前のスクランブル交差点にかけて並ぶプランターは約160基にのぼる。この取り組みでこれまで問題となっていた公園通りのバイク駐輪がほとんど見られなくなった。周辺店舗からは「景観が良くなった」との声も聞かれるようになった。

【効果】花いっぱい計画 景観良くなった等好評 歩道上のバイク駐輪の抑制

資料) シブヤ経済新聞

広場的空間を活用し、にぎわいを創出します。

【景観づくりの考え方】

歩道と連続する、敷地内の広場的空間において、歩行者への憩いの場を提供するとともに、オープンカフェや移動店舗等を設置し、にぎわい景観を創出します。また、地域の祭りと連携し、沿道各所の広場的空間を活用したにぎわいづくりに努めます。

【景観づくりの具体方策】

オープンカフェ等によるにぎわい創出

- 歩道と連続する店舗前空間などの広場状空間にオープンカフェや移動店舗を運営するなど、にぎわい景観を創出します。



移動販売車による、にぎわい景観イメージ



再開発等により、店舗前に広場状空間を創出し、オープンカフェ等を営む、にぎわい景観イメージ

沿道各所の広場的空間のイベント活用

- 祭り時に沿道各所の広場的空間を同時に活用し、大通り全体で祭りを盛り上げるなど、にぎわい景観を形成します。



ふるさと宮まつり
(ばんば広場)



宇都宮餃子祭り
(ばんば広場)
出典)宇都宮餃子会 H.P.



既存の広場状空間の活用イメージ



広場状空間の活用イメージ(バザー)
出典)栃木県中心市街地活性化推進協議会パンフレット

【参考事例】

まちを舞台にストリートパフォーマンスを展開 [熊本市内の6商店街]

熊本市中心市街地に熊本市現代美術館がオープンしたことを契機に、商店街の青年部が中心となり、商店街の通りにおいて、さまざまなパフォーマンス、アート活動を展開する、「ストリート・アート・プレックス」を企画した。熊本 TMO（熊本商工会議所）の事業として始まり今日に至っている。

街角に、いつも音楽やパフォーマンス等がある状態を目指し、それを都市の文化として根付かせていきたいというコンセプトのもと、お祭のような一過性のイベントではない「継続的な仕組みづくり」に重点を置いている。

商店街の通りや公共スペース等オープンパブリックな場所で開催することで、市民が日常の中で芸術に触れる機会を演出している。市民への出演公募や子どもたちが出演するイベントも展開しており、回を重ねるごとに市民からの支持が増えている。

【効果】 ストリート・アート・プレックスの展開

商店街組織の枠を超えた連携体制の確立（横のつながりに乏しかった商店街同士で連携が深まった。また、行政・商工会議所も事業運営の役割を担うことで、官民一体となった連携体制が確立された）

市民からの支持の増大

資料) Street Art-plex KUMAMOTO 実行委員会事務局 H.P.
がんばる商店街 77 選（経済産業省）

【参考事例】

街路灯(サウンドストリート)整備 [郡山市中央商店街道路高質化事業(郡山市)]

来街者に良質な音の演出をサービスする“音の景観づくり”を目指す取り組みである。街路灯にスピーカーが埋め込んであり、《サウンドストリート》として快適な音環境の演出が可能である。特定箇所でのイベント内容を通り全体に知らせたり、通り一帯に統一的な“音環境”を提供することができる。

【効果】 街路灯整備 快適な音環境の創出

資料) TMO 郡山 H.P.

地域活動の情報発信やわかりやすい案内等、心豊かな景観を形成します。

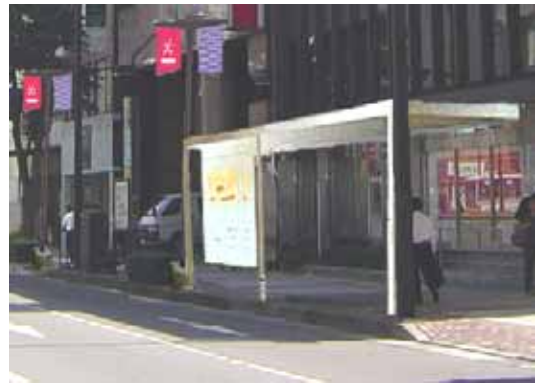
【景観づくりの考え方】

事業所と地域住民との協力関係のもと、事業所のショールーム、掲示板等や路上施設等を活用しながら、地区の情報や取り組みを発信し、また、地区内をわかりやすく案内するなど、心豊かなおもてなしのある景観を形成します。

【景観づくりの具体方策】

事業所等の掲示板や路上施設を活用した地域情報の発信

- ・沿道の事業所のショーウィンドウの一面や掲示板等を提供してもらい、地区の歴史や店舗の紹介や地区の取り組みを告知するポスターの掲示、地区の神輿等の歴史的な資源の展示等による活気ある景観を形成します。
- ・バス停を新規整備する際、情報掲示板を設置し、地域情報を発信します。
- ・路上での公共掲示板の設置を含め、地域情報の発信を推進します。



新たなデザインのリバス停における、情報交換用掲示板設置イメージ



ショーウィンドウを活用した地域の神輿の展示等、地域の情報を発信する活気ある景観イメージ



店舗の壁面における掲示板設置、情報発信による活気ある景観

わかりやすい案内表示

- ・大通りをわかりやすく、歩きやすくするため、サインの設置や地図を掲示し、おもてなしのある景観を形成します。



中心市街地を案内誘導するサイン
(宇都宮市公共サイン)

【参考事例】

QRコードを利用した情報発信 [仙台市内6商店街]

仙台市中心部のアーケード街は、JR 仙台駅前から T 字型に広がり、6 つの商店街で形成されている。

この 6 商店街が共同し、携帯電話の QR コード（二次元バーコード）の読取機能を活用して、計約 600 店舗の住所や商品などの情報を提供するインターネットサイト「街 NAVI ナビ 仙台」を平成 17 年 12 月 1 日から開設した。

「街ナビ仙台」では、まず、各商店街の紹介、参加店とコード一覧などを記載した A4 判、57 頁の冊子を店頭などで配布した。この冊子やホームページから QR コードを読み取ると、約 600 店舗のそれぞれの情報や 6 商店街情報、仙台市の観光情報、駐車場情報、災害等いざという時のための情報など、お好みのサイトへと展開する。

[効果] 中心市街地の各商店街が共通の危機意識の下に共同の事業を実施

平均して月間 5000 超のアクセス

資料) 街ナビ仙台 H.P.

がんばる商店街 77 選 (経済産業省)

3 大通りの歴史や文化を活かし、落ち着いた風格のある街並みを形成します。

歴史的資源の保全・活用により、風格のある街並みを形成します。

【景観づくりの考え方】

二荒山神社をはじめ、大通り沿道の寺院や飲食店、旅館等の歴史的建造物を保全するため、周辺の建築物等の更新時には、歴史的建造物との調和に配慮します。

【景観づくりの具体方策】

寺院等歴史的建造物の保全

- ・大通りの歴史を物語る、歴史的建造物を保全するため、これら周辺の建築物等の更新時には、派手な色彩や看板の掲出を控え、歴史的建造物との調和を図ります。



宝蔵寺(およりの鐘)



二荒山神社



旅館藤江

大通りを軸とした資源巡りルート設定

- ・大通り沿道の歴史的建造物等の資源を活用し、大通りを軸とした資源めぐりルートを新たに設定し、大通りの利用を促進します。



うつのみやまちなか散策マップ(宇都宮市観光交流課)



大通り周辺の歴史的建造物(蕎麦店)



旧篠原家住宅

洗練された建築物や歴史的建造物、商店等による、多様な街並みの調和を図ります。

【景観づくりの考え方】

各地区の特性をふまえ、建築物の壁面位置、色彩、屋外広告物の形態、色彩等に配慮し、多様な街並みの調和を図ります。

【景観づくりの具体方策】

壁面位置の調和

- ・ 建築物の新築、更新時には、できる限り大通り沿いに空地を設けながら、壁面の位置を周辺とおおむね合わせます。

壁面が揃って中高層建築物が立ち並び風格のある見通し景観



中高層部への落ち着いた色彩採用

- ・ 中高層部の外壁の基調色として落ち着いた色彩を採用します。



落ち着いた色彩景観

良好な屋外広告物景観

- ・ 地上部での集合看板の設置により、袖看板の掲示を抑制します。
- ・ 屋上広告物はなるべく避け、壁面に事業所名等を箱文字等で掲出します。
- ・ 中高層部の屋外広告物の地の色として落ち着いた色彩を採用します。

袖看板は設置せず、地上部に集合化



現状



地の色を周辺色彩と調和



面積を最小限化(箱文字化)

各地区のまつり等、伝統文化の継承、復活を図ります。

【景観づくりの考え方】

各地区独自のまつり、伝統文化を継承するとともに、かつてにぎわいをみせたまつり等の復活により、宇都宮らしい景観を形成します。

【景観づくりの具体方策】

地区独自のまつりの継承、復活

- ・ 掲示板等による情報発信やまつり開催時を現す提灯や旗などを掲げるなど、大通り全体で機運を盛り上げ、各地区独自のまつりの継承、復活を図ります。



イベント告知フラッグ
イメージ

まつりの舞台となる場における良好な景観づくり

- ・ 広場や交差点、道路等、まつりの舞台となる場において、まつりを引き立たせるよう、建築物の形態、色彩等の意匠に配慮します。



菊水祭



出初式

初市

地区の特徴を示すデザインコード（共通ロゴの採用等）を定めます。

【景観づくりの考え方】

各地区の特性をふまえ、各地区の特色をアピールするため、独自のデザインコードを検討します。

【景観づくりの具体方策】

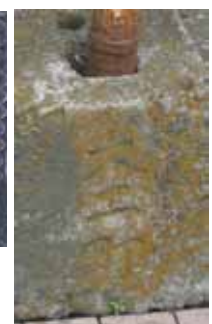
フラッグや道路付属物等への地区独自ロゴ等の表現

- ・ 各地区の歴史的資源等から、独自のロゴマーク等を考案し、フラッグや道路付属物等へロゴマークを表示し、当該地区ならではの景観を形成します。



池上町のイケビシ印

出典) 池上通り商店街
景観形成計画報告書



大工町名が彫られた
提灯竿の土台

大通り全体の景観づくりの目標と方針

1 宇都宮の顔にふさわしい、まとまり(絆)を持ち、「宇都宮」としての個性と魅力を備える「軸」を形成します。

ハード

公共施設や道路上の施設等については、デザイン等を統一します。

歩道舗装、道路
附属物のデザイン統一
緑の軸の形成
統一フラッグ掲出



宇都宮らしさを表す素材(「大谷石」)を活用します。

建築物等への
採用
植栽柵、モニュメントへの採用



二荒山神社、釜川などの宇都宮独自の景観資源を保全、活用します。

大通りからの眺望の向上。



餃子、ジャズ等、宇都宮ならではの取組みを大通り全体の景観づくりに活かします。

宇都宮らしさを表す取組みをデザインモチーフとする。



ソフト

大通り全体で景観づくりに参加するしくみを整備し、継続した取り組みを推進します。

大通り景観づくり協議会
大通り全体に関する長期的な課題等を、行政、事業者、住民の協働で検討、対応

大通り景観づくり専門部会
イベント等、特定テーマに関する検討会

大通り景観づくり地区別部会
地区別に短・中期的な課題を検討対応

大通り景観づくり地区別部会

地区

・自治会

・商店街

連携 ↓ ↑ 支援
行政(市、県)



大通り全体の景観づくりイメージ

2 宇都宮中心部のメインストリートとして、みどり豊かな歩いて楽しい、にぎわいのある街並みを形成します。

ハード

快適な歩行空間を形成します。

歩きやすい歩行空間創出
低層部壁面後退、ゆとり空間創出
アーケード機能代替、街路樹、花壇設置
占有物撤去、整理



低層部においてはにぎわいを演出するデザインを採用します。

ショーウィンドウにぎわいサービス施設配置
イルミネーション、ライトアップ等
夜間景観



ソフト

地域住民や事業者、行政が、共に緑を育みます。



店先、歩道の緑の維持管理

広場的空間を活用し、にぎわいを創出します。

オープンカフェ等によるにぎわい創出
沿道各所の広場的空間のイベント活用



地域活動の情報発信やわかりやすい案内等、心豊かな景観を形成します。

バス停の掲示板を活用した地域情報の発信
事業者掲示板を活用した地域情報発信



3 大通りの歴史や文化を活かし、落ち着きと風格のある街並みを形成します。

ハード

歴史的資源の保全・活用により、風格のある街並みを形成します。

寺院等歴史的建造物の保全
大通りを軸とした資源巡りルート設定



洗練された建築物や歴史的建造物、商店等による、多様な街並みの調和を図ります。

壁面位置の調和
中高層部への落ち着いた色彩採用
良好な屋外広告物景観



ソフト

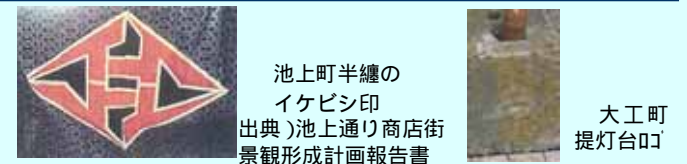
各地区のまつり等、伝統文化の継承、復活を図ります。

地区独自のまつりの継承、復活
まつりを契機として、まつりの舞台となる場における良好な景観づくり



地区の特徴を示すデザインコード(共通ロゴの採用等)を定めます。

フラッグや道路附属物等への地区独自ロゴ等の表現



大工町提灯台口